

滋賀県立陶芸の森開設35周年記念特別展

The Shigaraki
Ceramic Cultural Park
35th Anniversary
Special Exhibition

民藝から

関係へ

From Mingei
to Relations

コミュニティデザインの視点から

2025年
7月19日[土]—9月28日[日]

開館時間：9時30分—17時（入館は16時30分まで）

休館日：毎週月曜日

※7月21日・8月11日・9月15日[月祝]は開館、翌日振替休館

 滋賀県立陶芸の森陶芸館

35th
ANNIVERSARY

入場料：一般900円（720円）、大学生720円（570円）、
高校生以下無料 ※（内）は20人以上の団体料金

主催：滋賀県立陶芸の森

ゲストキュレーター：山崎亮（コミュニティデザイナー）

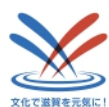
後援：滋賀県教育委員会、NHK大津放送局、甲賀市、京都新聞

協力：京セラ株式会社

T 529-1804 滋賀県甲賀市信楽町勅旨2188-7

Tel 0748-83-0909 Fax 0748-83-1193

Web <https://www.sccip.jp>



文化で暮らしを元気に！



信楽焼「青磁地付瓶」19C-20C前半 / 江戸時代後期—明治時代当館蔵



ハネーホー「ササキ氏の蔵書」1954年
滋賀県立近代美術館蔵

With a Focus
on Community
Design

民藝

Mingei

Avant-garde

前衛

Relations

関係



河井寛次郎「三色打染文様罌」1961年
河井寛次郎記念館蔵



「ササキ氏の蔵書」2013年個人蔵

暮らしに宿る民藝の美から名もなき関係の美へ

一夫(1918—1979)らが結成した「走泥社」など、【前衛】陶芸の動きも活発化し、多様な価値観が交差していきました。また1990年代以降には、非日常的な出会いや協働を契機とする【関係】を通じたモノづくりのかたちも模索されます。【民藝】の誕生から100年、本展では、産地や社会に根ざしたもののづくりを再評価するという視点で、ゲストキュレーターにコミュニティデザイナー・山崎亮を迎え、山崎氏は、陶芸という営みに多様な人々が関わることで、地域と社会に新たな関係性が育まれることに注目しています。そうした視点から、近現代の歩みを再考し、これからの陶芸の可能性を探ります。

民藝から関係へ

From Mingei to Relations

コミュニティデザインの視点から

序章

信楽と民藝
—風土に育まれた
手仕事



Decorated tea-leaf storage jars, for display in shop fronts of stores selling tea. Nagano, Meiji era. Photograph by Louise Alison Cort, 1976.

1章

民藝と
河井寛次郎
民藝との出会い
民藝の展開
新たな試み



河井寛次郎「民藝帖文庫」1960年、京都国立近代美術館蔵

3章

関係
—リレーショナル・セラミックス

・時と場所：Satoko Sai+Tomoko Kurahara／山村幸則
・参加を触発させるアート
・無人さん／Nadegata Instant Party
・新たな関係性を生み出す陶芸
・サイネンシー

2章

前衛陶芸

—戦後、他分野との交流のなかで
・四耕会 走泥社 辻萱堂など



宇野三雄「土の彫刻」1959年、東京国立近代美術館蔵



Satoko Sai・Tomoko Kurahara「モノ・タノ・ノ・カタ」2012年、当館蔵

関連イベント

○安土城考古学博物館 陶芸の森連携事業
陶芸館ギャラリー企画展

「信楽焼と民藝—考古の眼差し」

安土城考古学博物館・特別陳列Ⅲ

「信楽焼と民藝—柳宗悦に見出された信楽の美」

・同時開催 9月2日(火) 9月28日(日)

○対話の森

コミュニティデザイナー・山崎亮(ゲストキュレーター)

× 陶芸の森館長・松井利夫(陶芸家)

会場：信楽産業展示館ホール

○体験講座

「スリッブウエ技法でうつわを作ろう」

講師：山田洋次氏

・8月9日(土) 10時30分—16時

会場：信楽産業展示館創作スペース

○ギャラリートーク

・7月27日(日)、8月24日(日)、9月21日(日)

○ワークショップ

美術家・山村幸則氏による

「旅するたぬき—陶芸の森八景」トーク

・8月23日(土) 14時—16時30分

○関連イベントの申込み詳細は、当館HPを

ご確認ください



山村幸則「たぬき」



○新名神高速道路信楽ICから約8分
○駐車場(無料)：普通車約250台 大型バス約10台

○徒歩20分(約75分)
○信楽高原鉄道(信楽駅)より
甲賀市ミナミバス「陶芸の森前」
または「陶芸の森 陶芸館前」下車(約5分)
○自動車
○新名神高速道路信楽ICから約8分
○駐車場(無料)：普通車約250台 大型バス約10台

陶芸の森へのアクセス

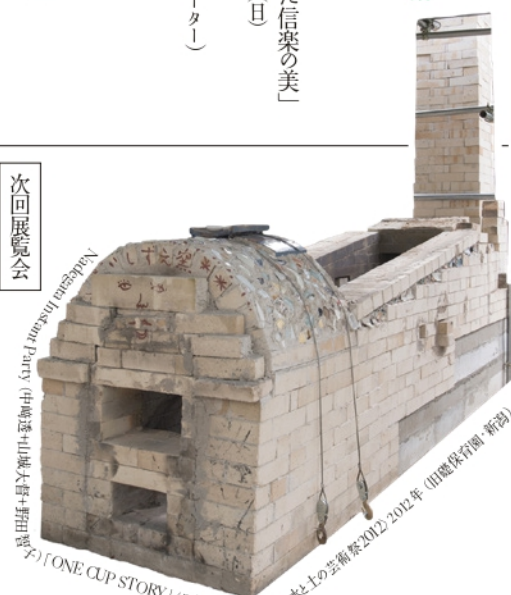
○公共交通機関
○JR草津駅より草津線乗り換え「貴生川駅」下車、
信楽高原鉄道乗り換え「信楽駅」下車、
徒歩20分(約75分)
○信楽高原鉄道(信楽駅)より
甲賀市ミナミバス「陶芸の森前」
または「陶芸の森 陶芸館前」下車(約5分)
○自動車
○新名神高速道路信楽ICから約8分
○駐車場(無料)：普通車約250台 大型バス約10台

次回展覧会

特別展

「九谷赤絵の極致

—宮本屋窯と飯田屋八郎右衛門の世界」
2025年10月11日(土)—12月14日(日)



Nadegata Instant Party「中庭の土の芸術家」2012年(山崎亮蔵・新刊)

滋賀県立 陶芸の森 陶芸館

〒529-1804 滋賀県甲賀市信楽町勅旨2188-7
Tel 0748-83-0909 Fax 0748-83-1193 Web <https://www.sccp.jp>